

子ども向け

福祉の耳より
だより

ふくみみ

ナンバー No.5

編集と発行

社会福祉法人
印西市社会福祉協議会
〒270-1325 印西市竹袋614-9
印西市総合福祉センター内

☎0476-42-0294
☎0476-42-0338

✉E-mail info@inzaishakyo.jp
🌐URL http://www.inzaishakyo.jp

4年に1回の障がい者スポーツの祭典!

ロンドンパラリンピック

8/29
開幕!

「もう一つのオリンピック」

7月27日(一部の競技は25日)からロンドンオリンピックがイギリスで開催されます。日本からも多くの競技にたくさんの選手が参加して活躍してくれることでしょう。女子サッカーのなでしこジャパン、水泳



平泳ぎの北島選手、体操の内村選手など日本の代表がメダルを期待されている競技もあります。

このロンドンオリンピックが終わった後に、もう一つのオリンピックがあることを皆さん知っていますか。

「パラリンピック (Paralympic)」という、主に身体に障がいのある選手たちを対象として、オリンピックが開催される年に、同じ場所で開催されるスポーツ大会です。「パラリンピック」は、「Parallel」という「同様の、もう一つの」意味と、「オリンピック (Olympic)」という意味を組み合わせて作った言葉です。

パラリンピックのはじまりは? このパラリンピックは、約60年以上前にイギリスのロード

ウィッチ・グットマンというお医者さんが「リハビリにスポーツを」という考えをもって、第二次世界大戦後に脊髄を負傷した16人の元兵士によるアーチェリーの大会を開催したのが始まりです。今回で14回目の夏季大会となるロンドンパラリンピックは、「大会の価値を未来へ

つなごう。(To use the power of the Games to inspire lasting change)」というスローガンで、8月29日から9月9日の12日間開催されます。それぞれの障がいの度合いによって分けられた20競技503種目を、世界の165カ国から約4,200人の選手が参加して競い合います。日本から出場する選手は、16競技に126人の選手が参加します。

皆さんの住んでいる千葉県の出身で、このパラリンピックに出ることが予定されている選手は、車イステニスの国枝慎吾選手、車イスバスケットボールの京谷和幸選手をはじめとして多くの選手が出場しますので、皆さん応援してください。(平成24年7月3日発表分)

いろいろな競技があります。 下半身が不自由な人の車イスバスケットボールや車イステニス。膝から下の足を失った人が義足(失った足の部分を補助する器具)を付け100メートル競技や走り幅跳び、目の不自由な人の柔道など、皆さんも目にしたことのある競技がいくつかあると思います。

障がいの度合いや障がいのある部分が少しずつ違うことで、有利であったり、不利であったりするところがあって、競技の公平さやメダルの価値などについて議論されることもあります。現在のパラリンピックは、障がい者スポーツの世界最高峰の祭典として広く知られるようになり、障がい者スポーツの発展に大きく貢献していることは、多くの人が認めています。

身体に何かしらの障がいをもった人たちが、そのハンディキャップを乗り越えて、自分の限界に挑戦する姿は、私たちを勇気づけてくれるとともに、勝ち負けの結果だけを喜んだり、悔しかったりするだけではなく、それぞれの存在を認め、讃えあう姿に心が動かされるものと思います。



パラリンピック シンボルマーク



赤色が心、青色が精神、
緑色が身体を表して
います。

※うちのひとと、いっしょによんでみましょう! ウラ面につづくよ!!

2004年アテネ大会でのエピソード 1,500メートルの車いす競技に出場した伊藤智也選手は、スタートを焦って転倒してしまい、金メダルの最有力候補だったカナダの選手と接触してしまいました。レース後、カナダの選手は、伊藤選手を責めることなく、笑顔で「お互い転倒して失格したけど、4年後をまた目標にお互い頑張ろう。」と話しました。この時、伊藤選手は「速さだけではなく、人としての強さや優しさを身につけなければならない。人と人とのつながりを大切にしなければいけない。」と決意したそうです。



皆さんの日常生活の中でも、辛く苦しい場面があると思います。しかしどんな場面でも、あきらめない気持ちで取り組んだり、自分の周りの人に対する感謝の気持ちを感じ取ることが大切なことではないでしょうか。

パラリンピックを観戦 このパラリンピックでの日本選手の活躍は、NHKでテレビ放送される予定です。開催地のロンドンとは、8時間の時差(日本の方が8時間進んでいます。)があるので、皆さんの寝ている頃に行われる競技も多く、テレビの放送も夜遅くなることもありますので、録画をしてみるとか、体調を崩さないよ

うに家族の人と相談して観戦してください。

ボッチャって? 皆さんも体験できるような競技を一つ紹介します。「ボッチャ」という競技で、縦6メートル、横12.5メートルの四角いのコートの中で、「ジャック」と呼ばれるターゲットとなる白いボールに向けて、赤いボールのチームと青いボールのチームがそれぞれ6球ずつ投げ合い、ジャックにどれだけ多くのボールを近づけたかを競う競技です。ボールが持てない人や投げることができない人にも、ボールを転がす補助的な器具やアシスタントと呼ばれる人のサポートで競技を行います。



冬季オリンピックの競技でもある「カーリング」や、皆さんも学校の仲間や地域の高齢者の人たちと一緒にやったことがあるかも知れない「ユニカール」にも似ています。

この「ボッチャ」を一緒にやってみませんか。印西市社会福祉協議会では、8月23日(木)に開催する「夏休みのサマー体験スクール」で、千葉県ボッチャ協会の方の指導で「ボッチャ」の体験会を開催します。このスクールでは地域のボランティアさんと一緒にカレーを作って、みんなで交流する時間も設けていますので、友達と一緒に参加してください。

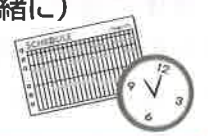
ボッチャを体験しよう!!

サマー体験スクール

- 【日時】** 8月23日(木) 10:30~15:00
- 【場所】** 印西市総合福祉センター レクリエーションホール
- 【講師】** 千葉県ボッチャ協会
- 【対象】** 市内小学5・6年生
- 【持ち物】** 動きやすい服装、上履き、エプロン、三角巾
- 【参加費】** 100円(保険代他)

スケジュール

- 10:30 開会・オリエンテーション
- 10:45 カレー作り(ボランティアさんと一緒に)
- 12:30 「ボッチャ」の体験
- 15:00 閉会・解散



【ふくみみ】ってなに? ・みみたぶのおおきいみみ・しあわせをはこぶみみ・しあわせがあらわれているみみ…をいいます。